

隠岐ジオパークについて

◎ 隠岐ジオパークの概要

隠岐ジオパークは、島根半島の北 40～80km の日本海に浮かぶ 4 つの有人島と大小 180 余りの無人島からなる隠岐諸島とその周辺海域をあわせた 673.5 km²を範囲としています。

隠岐ジオパークは、テーマを地質のみに限定しておらず、何億年も前から「大地の成り立ち」に加え、その大地の上に成り立つ「独自の生態系」と「古代から現代へと続く人の営み」を分かりやすく体験することができます。

◎ 隠岐ジオパークの特徴

隠岐諸島は、約500～600万年前の火山活動によって、世界でも新しい縁海である日本海に誕生した離島です。

大陸起源の鉱物粒子をもつ隠岐片麻岩や、日本列島では非常に珍しいアルカリ火山岩類等の岩石があり、これらの岩石は海岸の浸食を受けて、奇岩や絶壁が立ち並ぶ絶景をもたらしています。

また、その自然景観を構成する植生は、最終氷期の寒冷期に流入した亜寒帯の植物が暖温帯の植生に混交して見られる独特なものとなっています。

さらに、火山活動の産物である黒曜石に始まる古代からの歴史や文化が、神社やここで行われる祭祀の中に息づいています。

隠岐ジオパークでは、地質、地理、植生、文化などの様々な要素が絡み合って形成された景観を楽しみながら、「地球とは何か」を知ることができます。

◎ これまでの経過

平成21年 6月15日 隠岐ジオパーク推進協議会設立

平成21年 6月19日 日本ジオパーク認定申請書を日本ジオパーク委員会に提出

平成21年 9月14日～16日 日本ジオパーク委員会による現地審査

平成21年10月28日 日本ジオパークに認定

平成23年 4月25日 世界ジオパーク加盟申請書(日本語版)を日本ジオパーク委員会に提出

平成23年 8月22日～24日 日本ジオパーク委員会による現地視察

平成23年 9月 5日 世界ジオパーク国内候補地として、日本ジオパーク委員会の推薦を受けることが決定

平成23年11月30日 世界ジオパーク加盟申請書(英語版)を世界ジオパークネットワークに提出

平成24年 7月11日～14日 世界ジオパークネットワーク委員による現地審査

平成24年 9月21日 世界ジオパーク加盟認定が不可となる

◎ ジオパーク(世界ジオパーク)とは

ジオパークとは、ユネスコが支援する国際的なプログラムで、科学的にみて重要な、あるいは美しい地質遺産を有する自然公園を指し、「大地の公園」とも呼ばれています。

ジオパークのうち、世界ジオパークネットワーク(GGN)による審査を経て、同ネットワークへの加盟が認められたものが世界ジオパークです。

現在、世界27か国・88か所の地域(第11回ヨーロッパジオパーク会議前)が世界ジオパークに認定されています。なお、国内では「洞爺湖有珠山」、「糸魚川」、「島原半島」、「山陰海岸」、「室戸」の5か所が認定されています。